

# ヘルプマーク補助を目的としたヘルパーマーク

坂井郁巳

指導教員 小出昌二

拓殖大学 工学部デザイン学科 視覚デザイン研究室

**要約** ヘルプマークとは、身体的な支援を必要としていることが外見ではわからない人が援助を得やすくするためのマークである。このヘルプマークには認知度に不安があり、支援を期待できないという理由で利用率が低い問題が発生している。そこでヘルプマーク認知及び、自発的な支援の意思表示を目的としたマークを制作、普及することでヘルプマークの利用率を向上させることができるのではないかと考えた。このマークを「ヘルパーマーク」と定義し、ヘルプマーク補助の役割を持つマークとして制作し、普及させるためのシステムデザインを行った。

キーワード：ヘルプマーク，利用率

## 1. 研究の背景と目的

ヘルプマークとは、身体的な支援を必要としていることが外見ではわからない人が援助を得やすくするために、東京都福祉保健局が制作したマークである（図1）。また、配慮や支援を必要とする人々を示す記号として日本工業規格（JIS）に認定され、全国共通で標準化されたマークとなった（1）。



図1 「ヘルプマーク」(1)

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp>

しかし、ヘルプマークについて調べた際にヘルプマークの認知度の低さを問題視する記事(2)があることが判明した。では、なぜそのような問題が発生しているのか、その原因についてインターネット調査を行った。

インターネット調査を通して、ヘルプマークの認知度に関する記事の多くに共通して利用されている調査結果を発見した。この調査によると、ヘルプマーク支援を必要としている人々の中で「現在、利用している」と答えた人が20%、「利用していたが、現在は利用していない」と答えた人が2%と合計で22%と示されていた(図

2)。また、ヘルプマークを利用したくないと考えている人は「利用時の周囲の反応が気になるから」、「認知不足により役に立たないと思うから」と回答した人が多い結果となった(3)。

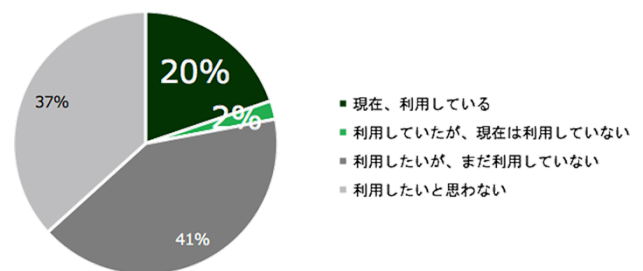


図2 「利用率の割合」(3)

<http://www.gp-sri.jp>

この調査結果により、ヘルプマークの認知度の低さと支援を必要としている方の利用率の低さが、互いに妨げていることが考えられる。

そこで、周囲の人々がヘルプマークを認知していることを可視化することで、ヘルプマークを利用しやすい環境づくりが可能になると考えた。具体的な方法として、ヘルプマークの認知度を向上させること、そして支援を必要とする人々が助けを求めることができる存在であることを示す役割をもつマークを提案する。

本研究では、このマークをヘルパーマークと定義し、ヘルプマークを補助する役割をもつマークとして制作する。また、制作したヘルパーマークの普及させるためのシステムデザインを提案する。

## 2. 研究の方法

- ① ヘルプマークの認知度の調査
- ② ヘルプマークのデザイン調査
- ③ ヘルパーマーク試作
- ④ マーク担当者インタビュー
- ⑤ ヘルパーマークの制作
- ⑥ 普及システムデザインの考察

## 3. これまでの成果

ヘルプマークのインターネット調査を行った。また、東京都福祉保健局に伺い、ヘルプマーク政策を担当している担当の方にヘルプマークの現状についてインタビューを行った。次にヘルパーマークの制作にあたって、ヘルプマークのデザインについてのインターネット調査、及び日本工業規格（JIS）について文献調査を行った。最終的にヘルパーマークの試作と普及システムデザイン案の考察を行った。

## 4. 制作案

デザイン調査の考察を元にヘルパーマークの試作を行った。ヘルプマークの要素として「助ける気持ち」を意味しているハートマークをベースとしたデザイン案を3案制作した。



図3 ヘルパーマーク試作デザイン案

図3の試作デザイン案では、ヘルプマークと視覚的に類似しているため、著作権に反する可能性があると考えられる。そのため、試作したデザイン案に修正を加えた（図4）。

修正したデザイン案の意図は修正前と変更せず、ヘルプマークと視覚的に類似しないデザインで「助ける気持ち」を表現した。



図4 ヘルパーマーク修正デザイン案

加えて、普及システムデザイン案の1つとして普及広告を製作した（図5）。



図5 普及広告デザイン案

## 5. 今後の予定

試作したヘルパーマークのデザイン案、及び普及システムデザイン案の検討を行う。最終的に完成したヘルパーマーク、及びヘルパーマークの普及システムデザインを提案する。

## 参考文献

- (1) 東京都福祉保健局  
[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/shougai\\_shisaku/helpmark.html](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/shougai_shisaku/helpmark.html)
- (2) 「利用率はわずか2割、ヘルプマーク普及への課題」 池田真隆  
[alternas.jp/study/news/72598](http://alternas.jp/study/news/72598)
- (3) 株式会社ゼネラルパートナーズ  
<http://www.gp-sri.jp/report/detail029.html>